

日本体育大学 編入学選抜 小論文試験

(60分:B4 用紙、横書き 600字以上800字以内)

2023 年度(スポーツ文化学部・保健医療学部実施なし)

体育学部

現在の日本では、Society 1.0(狩猟社会)、2.0(農耕社会)、3.0(工業社会)、4.0(情報社会)に続く新たな社会として、「Society 5.0(超スマート社会)」の構想が提唱されています。

内閣府によると、「Society 5.0 で実現する社会は、IoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出す」とわれています。当然、そのような社会では、人々の生活が大きく変化することが予想されます。そこで、あなたが考える Society 5.0 時代の体育・スポーツの意義を述べなさい。

スポーツマネジメント学部

スポーツはどのような形で地域活性化に貢献し得るか。具体的な例を挙げながら説明し、その効果を高めるためのマネジメントについて自らの考えを述べなさい。

児童スポーツ教育学部

スポーツ庁が実施した「令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、体力合計点は、令和元年度に比べ、小学生は男女ともに低下しました。子どもたちの体力を低下させている背景には、どのような要因があると考えられるか。また、子どもの体力向上を図るためには、学校や家庭でどのようなことに取り組む必要があるか。具体的な例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。

2022 年度(スポーツ文化学部・保健医療学部実施なし)

体育学部

第32回オリンピック競技大会・東京2020パラリンピック競技大会の基本コンセプトには「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」が掲げられています。スポーツにおいて「多様性を受け入れ、認め合う」とはどのようなことだと考えますか。具体例をあげながら、あなたの考えを記述しなさい。

スポーツマネジメント学部

「スポーツツーリズム」とは、スポーツの参加や観戦を目的とした旅行や、地域資源とスポーツを融合した観光を楽しむツーリズムスタイルのことで、スポーツ庁は「その地域ならではのスポーツを楽しむ新しい旅行の形」と表現しています。スポーツにはさまざまな関わり方がありますが、体験と観光をかけた旅行はスポーツツーリズムと言えるでしょう。

以上のようなスポーツツーリズムについて、あなたが参加したいあるいは企画してみたい、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

児童スポーツ教育学部

新型コロナウイルス感染症の拡大による学校の臨時休校以降、子どもの体力低下が指摘されるようになっている。子どもの体力向上を図るためには、楽しく気軽に苦手意識を持つことなくできる「運動遊び」が有効であるといわれている。

子どもがこの「運動遊び」を習慣化させるために、どのような体験が必要か。また、運動が苦手な子どもであっても楽しさを学ぶためには、どのような工夫ができるか具体的な考えを述べよ。

2021 年度(児童スポーツ教育学部・保健医療学部実施なし)

体育学部

スポーツは人々の生活を豊かにしていく大切な文化の一つです。今後、スポーツに関わる人を増やしていくためには、「スポーツをする人」を増やすだけでなく、「スポーツを観る(みる)人」や「スポーツを支える人(育てる人)」が大切になります。「スポーツを観る(みる)人」や「スポーツを支える人(育てる人)」をさらに増やしていくために、あなたの考えとその具体的な取り組みについて論じなさい。

2020年度(保健医療学部実施なし)

体育学部

2020年東京オリンピック・パラリンピックの「レガシー」で、あなたが1番残したいことをあげ、その理由を述べなさい。

児童スポーツ教育学部

運動の苦手な子どもは、スポーツを楽しむことがなかなかできません。こうした子どもがスポーツを苦手と感じてしまっている原因は何だと思えますか。また、あなたが指導者であった場合、こうした子どもに対してどのような配慮が必要であると考えますか。何か1つのスポーツ種目を取り上げ、具体的にどのようにすれば良いかを記述しなさい。なお、対象は、学校の体育授業でも構いませんし、学校外のスポーツクラブの活動でも構いません。

2019年度(児童スポーツ教育学部・保健医療学部実施なし)

体育学部

スポーツ界の暴力、パワーハラスメント問題が取りあげられていますが、このことに対しあなたの考えを述べなさい。また、このようなことを、今後起こさないためにはどのような対策を行えばよいか。あなたの考えを述べなさい。